

ウィーンの風

ウィーン・アンサンブルVIMCA

ヨハン・シュトラウス2世 生誕200年！
ウィーンの演奏家と県内の中高生が音楽で国際交流



© Wien Tourismus/Julius Hirtzberger

曲目

【第1部】静岡県内の中高生と共演

W.A.モーツァルト：歌劇「フィガロの結婚」序曲
J.ハイドン：チェロ協奏曲 第1番 八長調より第1楽章
J.シュトラウス2世：ポルカ「観光列車」
J.シュトラウス2世：ポルカ「雷鳴と稲妻」

【第2部】

W.A.モーツァルト：クラリネット五重奏曲 イ長調「シュトラウ」
J.シュトラウス2世：ポルカ「浮気心」

ほか

出演

ウィーン・アンサンブルVIMCA

パヴェル・クツミシェフ（第1ヴァイオリン） シーラ・エプシュタイン（第2ヴァイオリン）
グンター・グレッセル（ヴィオラ） ヴォルフガング・ヘルテル（チェロ）
マティアス・シュルツ（フルート） クリストフ・ツィムパー（クラリネット）

共演：静岡県立清水南高等学校・同中部 管弦楽部
静岡県立清水南高等学校 芸術科 音楽専攻

音楽ナビゲーター：岡部武彦

※出演者・曲目は変更になる場合がございます。

背景：シェーンブルン宮殿

全席指定 一般 3,000円 こども・学生 1,000円

※こども・学生は28歳以下の学生、未就学児入場不可
※公演一週間前に残席がある場合、定価より2割引となります（こども・学生は除く）
※グランシップ友の会会員特典対象事業 ※「静岡県高校生アートラリー」対象事業

グランシップ友の会先行販売：11月3日（日・祝）～11月9日（土）

一般発売：11月10日（日）～

チケット販売・お問い合わせ

グランシップチケットセンター

TEL.054-289-9000

（10:00～18:00 / 休館日を除く）

グランシップホームページからも購入できます

コンビニ引取手数料無料

スマートフォンで電子チケット受取可



<https://www.granship.or.jp>

2025年2月2日（日）15:00開演（14:30開場）

グランシップ 中ホール・大地
（JR 東静岡駅南口隣接）

■主催：公益財団法人静岡県文化財団、静岡県

■後援：静岡県教育委員会、静岡市教育委員会、オーストリア大使館/オーストリア文化フォーラム東京

■協力：一般社団法人ウィーン国際音楽文化協会

文化庁文化芸術振興費補助金
（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会



ウィーン・アンサンブルVIMCA

ウィーン・フィルをはじめ、ウィーンを代表するオーケストラのトップメンバーによるアンサンブル。古くからの音楽仲間達による弦楽四重奏団とフルート、クラリネットによる特別編成のアンサンブルで、モーツァルトからヨハン・シュトラウス2世まで、本場ウィーン一流の演奏を披露します。2025年はヨハン・シュトラウス2世生誕200年の記念すべき年。ヨハン・シュトラウス2世の楽しい曲も取り入れ、息の合ったパフォーマンスでお届けします。

Pavel KUZMICHEV



パヴェル・クツミシェフ (第1ヴァイオリン)

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

芸術家一家に生まれ、6歳から故郷のキーウでヴァイオリンを始める。1999年モスクワ・チャイコフスキー音楽院を卒業後、オーストリアに移住。ウィーン国立音楽大学でG.ピヒラー教授に師事。ロシアとオーストリアの「シュテファン・ホール」コンクールで優勝。近年、ソリストまた室内楽奏者として、ヨーロッパの主要な舞台で大成功を収めており、数多くの著名なアーティストやアンサンブルと共演している。2004年よりウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のヴァイオリニスト。

Shira EPSTEIN



シーラ・エプシュタイン (第2ヴァイオリン)

ウィーン・シュトラウス・フェスティバル・オーケストラ コンサートミストレス

7歳よりヴァイオリンを始め、2016年ウィーン市立音楽芸術大学修士課程を優秀な成績で修了。ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のオーケストラ・アカデミーでコンサートマスターを務め、ウィーン国立歌劇場、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団と期間契約を結んでいる。2015年から2022年にかけてウィーン・フォルクスオーパーの第1ヴァイオリン奏者兼第1ヴァイオリン首席奏者を務めた。リサイタルではオーストリア国営放送で生中継され注目を浴びている。

Gunter GLOESSEL



グンター・グレッセル (ヴィオラ)

リンツ・ブルクナー管弦楽団首席奏者
ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 ゲスト

8歳よりヴァイオリンを学び始め12歳でヴィオラに転向。グラーツ国立音楽大学とウィーン国立音楽大学、ザルツブルグのモーツァルト音楽大学にてヴィオラを学ぶ。1996年よりウィーン国立歌劇場管弦楽団やウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に客演。2004年よりリンツ・ブルクナー管弦楽団のソロ・ヴィオラ奏者として活動している。アンドレス・オロスコ=エストラーダ指揮、ベルリオーズ「イタリアのハロルド」やデニス・ラッセル・デイヴィス指揮、モーツァルトの「ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲」などのソリストを務める。

Wolfgang HAERTEL



ヴォルフガング・ヘルテル (チェロ)

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

7歳よりグラーツの音楽院でレッスンを受ける。16歳よりグラーツ国立音楽大学に編入しA級取得後、ウィーン国立音楽大学でヴォルフガング・ヘルツァー教授に師事し、2001年に優秀な成績で卒業。1998年にウィーン・フォルクスオーパーのソロ奏者としてデビュー。2003年よりウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のチェリスト。室内楽ではウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の弦楽四重奏団「シュトイデ・カルテット」のチェリストでもある。2019年からウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のアカデミー生を指導。個人所有のチェロは1807年マルティン・シュトス作。

Matthias SCHULZ



マティアス・シュルツ (フルート)

ウィーン国立歌劇場管弦楽団/ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 ゲスト

ウィーン国立音楽大学にて父親でありウィーン・フィル首席フルート奏者、故ヴォルフガング・シュルツ教授の元で学ぶ。ソリストとしてウィーン・トーンクンストラ管弦楽団、ザルツブルグ・モーツァルト管弦楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団等と共演。ヨハン・シュトラウス2世が設立したウィーン・ヨハンシュトラウス管弦楽団首席奏者も務めている。オーストリアフルート協会会長。ウィーンのオーケストラを担う若いソリスト達により結成されたパオレ・ウィーン木管五重奏団のリーダー。

Christoph ZIMPER



クリストフ・ツィムパー (クラリネット)

ウィーン国立音楽大学教授

2004年よりフランス・メントン音楽院で学び、2005年よりウィーン国立音楽大学にてヒンドラー教授に師事。国・州主催コンクール「プリマ・ラ・ムジカ」入賞。ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン国立歌劇場管弦楽団、ウィーン・フォルクスオーパー等にて、ピエール・ブーレーズ、ロリン・マゼール、ズービン・メータ等の指揮で演奏。2011年よりミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団アカデミーメンバー。元ザルツブルク・モーツァルト管弦楽団首席奏者。ウィーン国立音楽大学クラリネット科教授。

Takehiko OKABE



岡部武彦 ● 音楽ナビゲーター

音大音楽科卒業後、ウィーン国立音楽大学声楽科を特待生として修了。イタリア・ミラノにて研鑽し、スペイン・バルセロナへ。15年間にわたるヨーロッパ生活にピリオドを打ち帰国。近年は海外の歌劇場、音楽事務所の声楽アドバイザーの他、ウィーン少年合唱団、ウィーン国立歌劇場、及び、ウィーン・フィルメンバー等とのコンサートを行っている。西武文理大学特命教授。山梨県立大学客員教授。ウィーン国際音楽文化協会理事長。やまなし大使。2022年オーストリア大統領よりオーストリア共和国有功名誉賞叙勲。

交通アクセス

- ・ JR東静岡駅南口隣接。
- ・ 静岡鉄道長沼駅徒歩10分。
- ・ 東海道新幹線(ひかり)で東京・名古屋から1時間、新大阪から2時間。JR静岡駅乗換、東静岡駅まで3分。
- ・ 車では、東名高速道路静岡I.C.から20分。日本平久能山スマートI.C.から10分。新東名高速道路新静岡I.C.から15分。静岡バイパス千代田上土I.C.から10分。

公演当日は混雑が予想されますので、公共の交通機関をご利用ください。

車椅子でご来場の方は公演前日までにご連絡ください。

託児サービス(無料、2歳以上の未就学児)をご希望の方は公演2週間前までにご連絡ください。定員になり次第、締め切ります。

【車椅子での来場及び託児サービスのお問い合わせ】
(公財)静岡県文化財団 文化事業課 TEL054-203-5714



〒422-8019 静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号
グランシップ指定管理者:公益財団法人静岡県文化財団
<https://www.granship.or.jp>

